

2017年度惑星科学フロンティアセミナー参加報告

辰馬 未沙子¹

北の大地に向かうということで、私は長袖を着て上着の準備をして行きました。しかし、バスを降りてみると思っていたよりも暑く、すぐに上着を脱いでしまいました。それでも灼熱の東京に比べれば随分と涼しく、同じ日本なのにここまで格差があるものかと驚きました。後から北海道の人に「最近は暑いほうだよ」と言われ、大変羨ましく感じました。

今年の惑星科学フロンティアセミナーは9月6日から9日にかけて、北海道札幌市南区定山溪温泉の溪流荘において開催されました(図1)。テーマは「惑星系と衝突の歴史」で、名古屋大学大学院理学研究科の小林浩氏を招待し、2日間の講義をしていただきました(図2)。源泉かけ流しの露天風呂や食べきれないほどの豪華な食事のおかげで、大変リラックスした状態で講義を受けることができました。また、溪流荘は平成30年10月末に閉館してしまうということで、最後の貴重な機会に泊まることができました。余談ですが、札幌駅からバスで1時間強もかかるというのにまだ札幌市内だということに気づき、北海道の広さを実感しました。

講義の内容は、現在の太陽系と原始惑星系円盤やデブリ円盤、ダストから微惑星へ、秩序成長と暴走成長、天体の成長とサイズ分布、その後の惑星形成、太陽系の形成条件という順で、小林氏の研究と絡めたものでした。詳しく見てみたい方は今後公開されるビデオやノートを参照していただければと思います。理論に慣れていない人には概念を、慣れている人には式を用いて理解することができる授業で、大変面白かったです。途中わからないことが出てきても非常に質問のしやすい



図1：溪流荘前での参加者集合写真。



図2：講義中の様子。写真奥が講演中の小林氏。

い雰囲気でも、学生の質問にも丁寧に答えてくださり、とても勉強になりました。その後の天文学会での小林氏の講演は、今回の講義の内容の一部でもある「微惑星から惑星への乱流円盤中での成長」であり、まさに

1. 東京大学大学院理学研究科
misako.tatsuuma@nao.ac.jp

「フロンティア」セミナーだと実感しました。

今回私は初めて惑星科学フロンティアセミナーに参加し、初めて会った人ばかりで緊張していましたが、参加者の皆さんは大変親切ですぐに打ち解けることができました。また、学生の参加者も多く、学部生の参加もあったようで、同年代の知り合いがぐんと増えました。個人的には女性参加者が6人ということで、普段とは異なる環境で楽しく過ごすことができました。来年度以降の惑星科学フロンティアセミナーも、ぜひ参加してみたいと思いました。

お忙しい中、丸2日間にわたる講義を行っていただいた小林氏に改めて感謝いたします。また、セミナーの企画や運営をしてくださった実行委員会の皆様にも感謝いたします。さらに、私は参加費の補助をいただいたので、日本惑星科学会にも感謝いたします。私のように個人研究費が潤沢でない学生には、参加費の補助は大変有り難いものです。ありがとうございました。